



路線バス撤退を契機とした 村内モビリティのRe design

-北海道中央バス「赤井川線」撤退の対応策を事例として-



2025.9.12 日本モビリティ・マネジメント会議(札幌)
北海道赤井川村 保健福祉課
(併)官民連携・地方創生担当
課長 高松 重和

自己紹介



<職歴>

- 平成5年 赤井川村役場 奉職
「保健・福祉」の仕事を担当
- 平成14年 「農業」の仕事を担当
- 平成22年 「総務」の仕事を担当
- 平成24年 「総務課総務係長」
- 平成25年 「東京財団週末学校」受講
- 平成26年 「産業課地域振興係長」
道の駅開業の仕事を担当
- 平成28年 「総務課総務係長」(ふるさと納税担当)
- 平成30年 「総務課主幹」

公共交通課題への対処

令和元年7月 「総務課長」

総務・財政・企画(公共交通・脱炭素)

令和4年4月 むらバス運行開始

令和6年4月 「保健福祉課長」

令和7年5月 「(併)官民連携・地方創生担当課長職」

※環境省脱炭素まちづくりアドバイザー就任

現在に至る



「赤井川村の地域公共交通再構築」 国土交通省 地域公共交通 リ・デザインホームページをご覧ください <https://www.mlit.go.jp/redesign/>



地域公共交通の「リ・デザイン」(再構築)とは、
官民共創・交通事業者間共創・他分野共創の「3つの共創」、
自動運転やMaaSなどデジタル技術を実装する「交通DX」、
車両電動化や再生エネルギーなど「交通GX」、を柱とした取組です。
目的は、地域の関係者の連携と協働を通じて、
地域公共交通の利便性・生産性・持続可能性を高めることにあります。

→むらバス運行の軌跡



北海道赤井川村の先進事例インタビュー動画【むらバス】

村唯一のバス路線の存廃協議を契機に、村役場が中心となり、タクシー会社、スクールバス、リゾート会社の従業員送迎バスといった村内の輸送資源をフル活用し、地域自らがデザインした持続可能な公共交通「むらバス」を運行するなど、地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。

※YouTubeを閲覧できない方は[こちら](#)をご覧ください。

「ピンチはチャンスー子どもたちの未来をつなぐ むらバスー」 全国過疎地域連盟 「過疎物語」をご覧ください

https://www.youtube.com/watch?v=J8SGG7yD7YQ&list=PLJin4Gk-YvbSFa6kgJWO855qc_SdBokB_

→むらバス運行の現在



地域公共交通 Re designのstep

ありたい姿 利用されるバス運行によって
暮らしやすさが向上する

議会議論
特別委員会の開催

Step 6 2022.4.1むらバス運行スタート～現在

ラストマイル対応/ダイヤ・ルート見直し/検索サイト/電子決済/バスロケ

Step 5 2021年度 バス運行事業の準備

車両購入/バス停準備/定期券取扱い協議(余市観光協会)
企業版ふるさと納税+ガバメント・クラウドファンディング

Step 4 2021年度 地域公共交通計画策定スタート【2年目】

運行体制の検討/実証運行の実施(むらバス運行体制の実証)
バス利用者の移動把握

Step 3 2020年度 地域公共交通計画策定スタート【1年目】

住民アンケート(バス利用者・未来の高校生)、住民懇談会、村内事業所との意見交換

Step 2 2019年度 地域公共交通活性化協議会(法定協)設立

Step 1 2019年度 札幌運輸支局へ相談・協議

北海道中央バスとの協議

北海道運輸局
(札幌支局)
助言

コンサルタント
活用

課題 村内唯一の公共交通がなくなってしまう

地域公共交通 Re designの全体像

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



村民・赤井川村

「公共をみんなで支える」

地域内
事業者



「共に創る」



地域外
事業者

共創による地域課題解決へ

ふるさと
納税

関係機関
専門家

隣接
自治体

－村（行政）・住民・民間事業者の対話－ ありたい姿を共有する

ありたい姿【目的】=利用されるバス運行によって、
暮らしやすさが向上する

そのための方策【手段】=地域からバスをなくさない



地域公共交通 Re designの特徴

－ 地域資源を見つめなおす－

地域に「あるもの」と「あるもの」を
組み合わせで新しい価値を創る
乗務員・バス車両



Kiroro Ski Resort

<https://www.kiroro.co.jp> > ...

キロロリゾート | Best ski resort in Japan

キロロリゾート、所在地: 北海道余市郡赤井川村常盤128番地1 キロロリゾート、郵便番号: 046-0593. お問い合わせ: ClubMed Kiroro 0088-21-7008. Yu Kiroro 0135-48-6789
天気とリフト運行状況・リフト料金について・キロロスノーワールド マップ・宿泊



akaigawa.com

<https://www.akaigawa.com> > 施設案内

赤井川ハイヤー－人と自然が育む美しい村 赤井川村

赤井川村はその四方を山々に囲まれた「カルデラ」の里。さわやかな風は、人々の情熱とパワーがあふれています。



対 話
から
連 携



－全国各地からの共感を募る－

ふるさと納税 企業版ふるさと納税

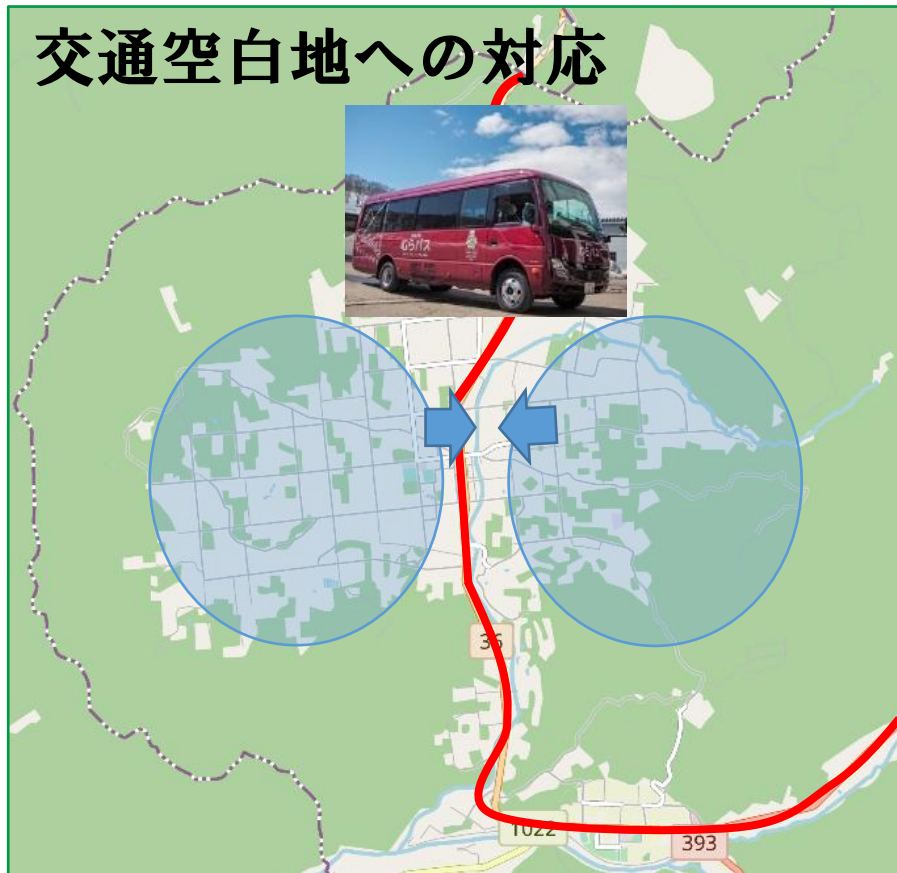
地域の課題を全国へ
公共交通 リ・デザイン構築を全国の皆さんと

地域公共交通 Re designの特徴

ラスト・ワンマイル対策

2023.8.1スタート！

交通空白地への対応



過疎地域交通空白
自家用有償運送

×

地域おこし協力隊

×

運行主体
社会福祉協議会



赤井川社会福祉協議会
送迎サービスのご利用案内

地域おこし協力隊の「かとうくん」が運転する
「おでかけアシストサービス」「通院送迎サービス」が
2023年8月 スタートします！

※社協職員、ボランティアスタッフが送迎に伺いする場合があります。

1 「おでかけアシストサービス」は自宅から村内の移動に

利用対象者	赤井川村民(会員登録をした方)なら基本どなたでも利用可能		
ルート	村内のみ(自宅から、バス停、温泉、体育館、公共施設、役場、郵便局、健康支援センター、セイコーマート、河村商店など)		
利用内容	100円	100円	一回(片道)100円
料金	自宅	目的地	自宅 ※初回ご利用時にのみ入会金1,000円がかかります

2 「通院送迎サービス」は余市町や仁木町の病院への移動に

※通院送迎サービスのご利用には条件がございますので、まず社会福祉協議会事務局までご相談ください。

利用対象者	要介護、要支援認定を受けた方、自立支援事業対象者、障害者、妊婦等 移動困難と認められる方が対象のサービスです 登録制(申請して必要と認められた方)、入会金は必要ありません		
ルート	赤井川診療所、余市町と仁木町の病院、施設(札幌、小樽、倶知安は不可)		
利用内容	※院内の付き添いもいたします。 往復で1,500円(赤井川診療所は500円)		
料金	自宅	病院	自宅

3 予約方法と休業日

電話 34-6068 社会福祉協議会事務局まで(原則3日前までに要予約)
休日 土、日、祝日、年末年始12/30~1/5

－むらバス運行の効果 ①利用されるバスへ－

むらバス利用状況

令和3年度(2021年度) 5,784人(15人/日)

北海道中央バス赤井川線
＋実証運行(2か月)＋日・祝代替交通

令和4年度(2022年度) 9,184人

むらバス運行初年度
高校生通学利用

令和5年度(2023年度) 19,848人

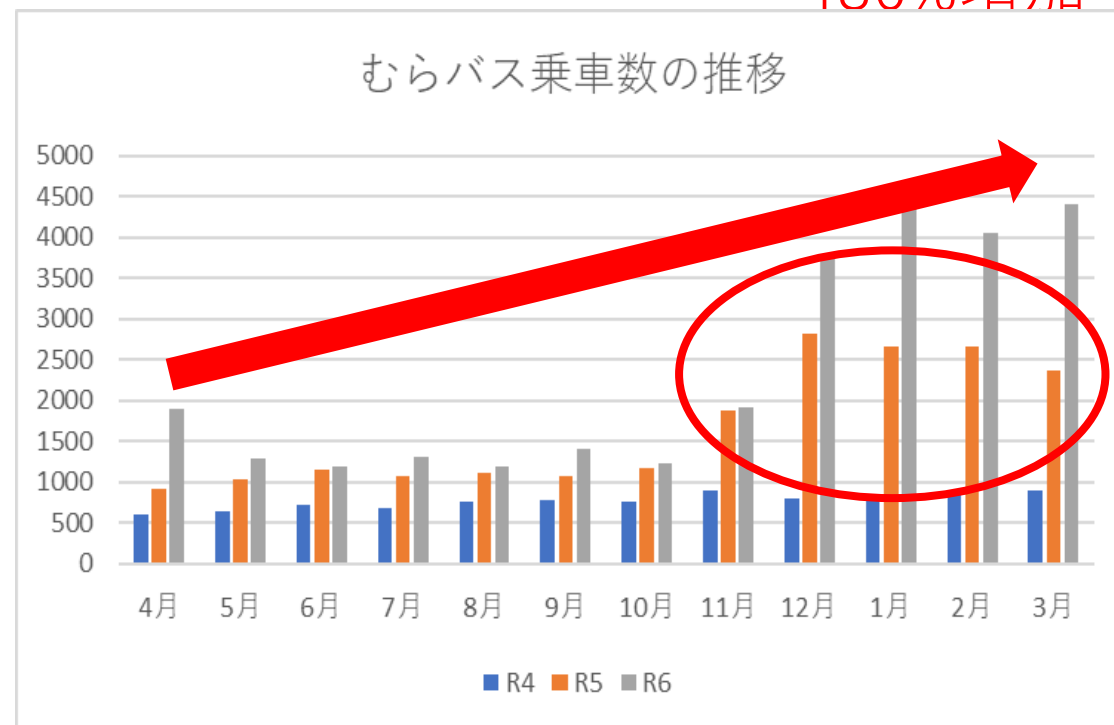
むらバス運行2年度目
村民利用＋**リゾートスタッフ通勤(生活交通)**
＋**スキー客(二次交通)**

令和6年度(2024年度) 28,157人(80人/日)

むらバス運行3年度目
2024.12月 中型バス導入(余市協会病院までの延伸実証運行)

→輸送力UP/ニーズへの対応

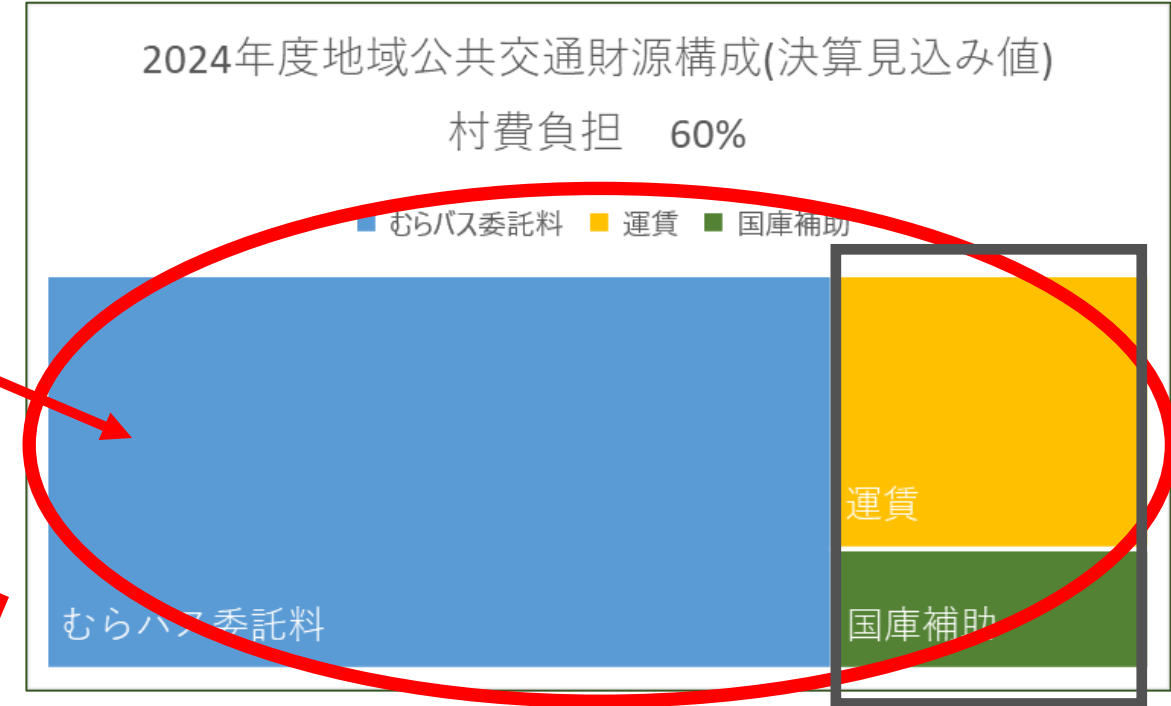
2021年度比
486%増加



－むらバス運行の効果 ②公費負担割合の縮減－

利用されるバス運行 しごとの創出＋地域内経済循環

地域事業者へ循環



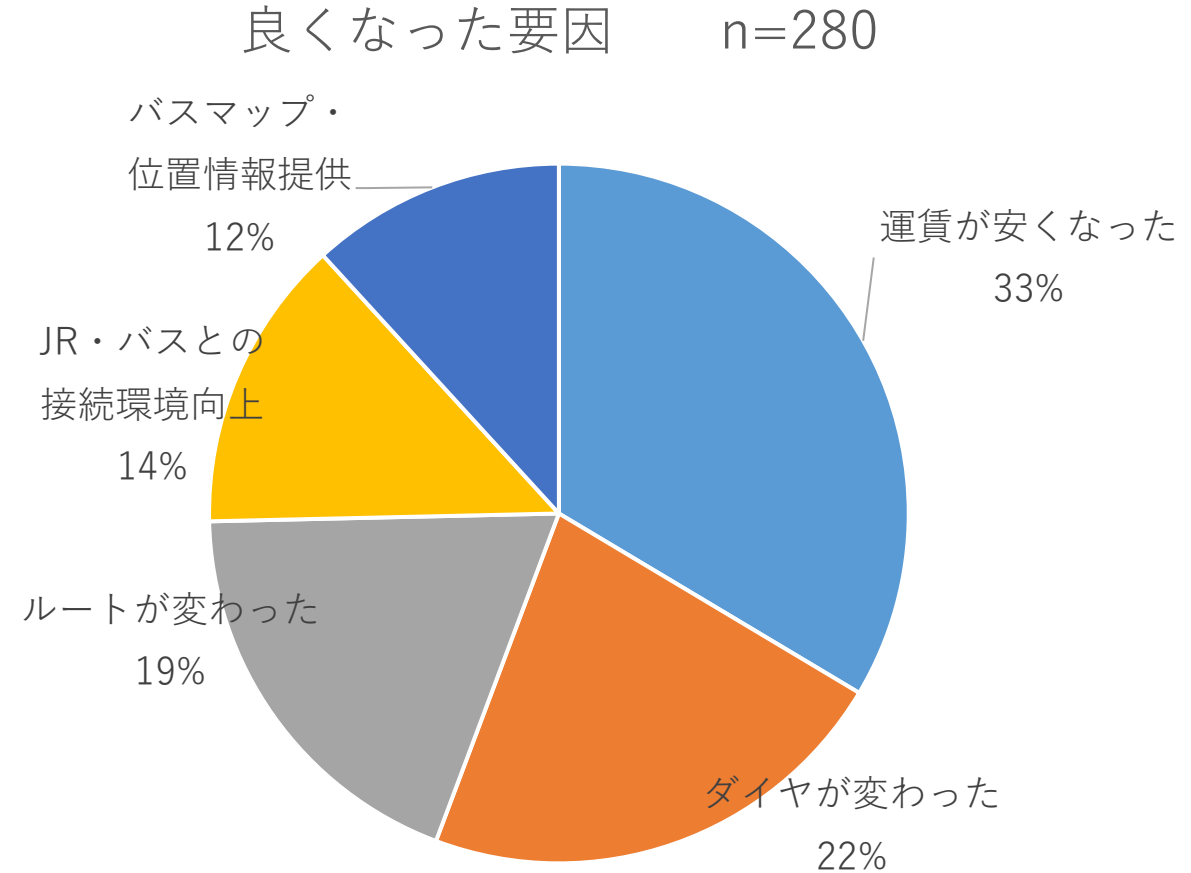
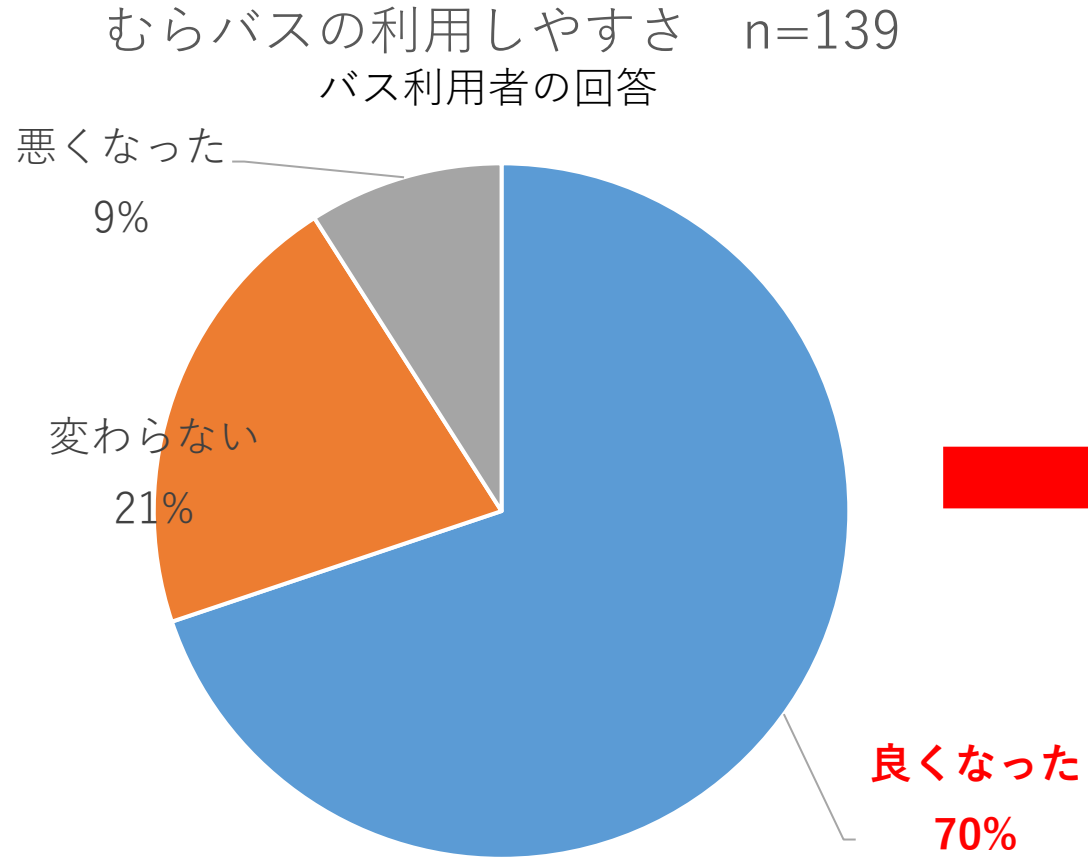
公費負担額の縮減

2021年度 15,280千円 ⇒ 2024年度11,771万円

財政負担の軽減

－むらバス運行の効果 ③住民アンケート結果－

2023年度 地域福祉計画策定住民アンケートより



利便性の向上＝暮らしやすさ

地域公共交通 Re design 当事者として

- 1 「人脈づくり」と「ひと と ひと とのつながり」
- 2 小さな村のコミュニティ
- 3 「現場感」と「現場勘」
- 4 「対話」と「ありたい姿」の共有
- 5 広く浅い様々な経験と根拠のない行動力



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合